

正 誤 表

「看護学テキスト NiCE 母性看護学 II マタニティサイクル (改訂第3版 第2刷)」

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。なお、弊社ホームページに掲載のサポート情報も併せてご参照ください。

頁	該当箇所	誤	正
35	表 I-8 妊娠時期ごとの妊婦健康診査項目 (リスクのない妊婦を対象とする)	本正誤表2ページに掲載の表へ差し替え	
120	〈診断基準〉の囲み記事 上から6行目	②1時間値 \geq 180 mg/dL (10.0 <u>mmo/L</u>)	②1時間値 \geq 180 mg/dL (10.0 <u>mmol/L</u>)
492	6/19 (5 日目) 「検査データ」の行	Hb <u>10.1</u> g/dL	Hb <u>11.0</u> g/dL

2024年5月7日

株式会社南江堂

表 I-8 妊娠時期ごとの妊婦健康診査項目 (リスクのない妊婦を対象とする)

必要な検査	妊娠週数	初診時	4~12週	13~19週	20週前後	24週ごろ	26週ごろ	30週ごろ	33~36週	37週ごろ	41週以降
問診		○	○								
子宮頸がん細胞診			○								
計測											
身長		○									
体重		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
血圧		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
子宮底長				(○)	○	○	○	○	○	○	○
胎児心拍			○	○	○	○	○	○	○	○	○
浮腫評価				(○)	○	○	○	○	○	○	○
尿検査											
タンパク半定量		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
糖		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
内診・腔鏡診		○			○	○		○		○	○
血液検査											
風疹 (HI)			○								
血液型 (Rh 含む)			○								
不規則抗体			○								
血球算定検査			○					○		○	
梅毒検査			○								
HBs 抗原			○								
HCV 抗体			○								
HIV 抗体			○								
HTLV-1 抗体			○ ^{*1}								
トキソプラズマ抗体			○								
超音波検査											
胎嚢・頭殿長		○	○								
胎児心拍確認		○	○								
頸管長						○					
胎児発育		○	○		○			○		○	
胎盤位置・胎位					○			○		○	
羊水量					○			○		○	
耐糖能検査 ^{*2}											
随時血糖			○								
50 gGCT							○				
細菌関連検査											
細菌性膣症			○								
クラミジア					○ ^{*3}						
GBS								○			
胎児 well-being 検査											○

^{*1} HTLV-1抗体検査は初期が望ましいが遅くとも妊娠30週までに実施する。

^{*2} 耐糖能異常スクリーニングは、全妊婦を対象とすることが望まれる。妊娠初期随時血糖と妊娠中期50 gGCTあるいは随時血糖による2段階スクリーニングが勧められる。

^{*3} 治療が必要になることを考慮し、30週ぐらいまでに行うことが勧められる。

[日本産科婦人科学会/日本産婦人科医会(編・監):CQ001, CQ003, CQ005-1, CQ106-2 産婦人科診療ガイドライン—産科編2020, p.1-2, 日本産科婦人科学会, 2020より作成]